

天童四中だより

# To the NextStage

～仲間と共に踏み出す勇気と生きる力を～

4月号

4月26日発行



## 四中春爛漫！

# 110名の新入生！ようこそ四中へ！



校長式辞から

### 「一緒に考えていきたい3つのこと」

校長 石山 重典

校長先生から新入生の皆さんにお祝いの言葉を贈りたいと思います。皆さんは小学校でいろんな学習方法で学んできましたので、「おめでとう。中学校ではこんなことを気をつけて頑張ろう」のような、校長先生の話だけでは、物足りないのではないのでしょうか。いかがですか。

これからの時代を生き抜く力強い人間、リードする人間になるために、ちょっと変わってはいますが、新入生のみなさんと一緒に考えていきたいことを3つ話します。だから、この3年間、校長先生から今から話すことを聞かされたら、自分なりの答えを教えてください。

○一緒に考えようの一つ目。

#### 「なぜ、大切なものは目に見えないのでしょうか」

自分の大切なものと言われれば、今何を思い浮かべたでしょうか。ゲーム機とかスマホとかものですか。それとも、大好きな芸能人のポスターですか。いやいや、父や母、兄弟姉妹などの家族ですか。例えば、テストの点数はどうでしょうか。数学が得意な人は100点。苦手な人は5点のように、数字で表すことができます。それでは、人を思う心、愛する心などはどうやって点数にできるのでしょうか。粘り強く頑張れる精神力などはどうでしょうか。世界のどこかで、できているのかもしれませんが、できませんよね。

昨年度、四中生から学んだことは、「愛」や「思いやり」の心と、物事の根本、本質を見極めた行動の大切さです。今、私がかどり着いている答えは「なぜ、本当に大切なものは見えないのか。」の答えは、見えないからこそ、それは何かを追い求めつづけなければならないこと、考え続けることが大切なのだということです。見えないからこそ、心の目を開いて見なさい、と言われていていると思っています。みなさんはどうでしょうか。

○一緒に考えようの二つ目。

#### 「なぜ、人は一人として同じ人がいないのでしょうか」

それは、遺伝子が一人一人違うのだから当たり前でしょと思う人もいるかもしれませんが。例えば、双子で生まれてきた人たちも、同じ親に育てられ、環境も同じはずなのに、同じ人ではありません。神様は人間をわざと同じでない、デコボコにつくったと言っている人がいます。そこに答えがありそうな気がします。

人間は得意なことや苦手なことがあります、その一人一人が一つになり、力を合わせることで、みんなで生きることの楽しさや、素晴らしさを味わうことを認識し、この世界が幸せになると言っているのです。

昨年度の四中の体育祭での、学級対抗の全員リレーを思い浮かべています。足が速い人が多くいる学級は優勝するでしょう。悪いことではありませんね。しかし、四中生は、そこに価値を見いだしていませんでした。走れる人みんなが、自分のありったけの力を出し、声がかかるまでの応援をしていました。ゴールし、抱き合って達成感を喜ぶ姿がありました。順位を超越した、デコボコのみんなが一つになった姿です。その姿に感動しました。

今のところ、校長先生は四中生の行事に取り組む、このような姿こそが答えではないかと思っています。

○一緒に考えようの三つ目。

#### 「なぜ、君たちは四中に入学してきたのでしょうか」

そんなの、天童に家があって、家族がいるんだから当たり前と考えられますよね。ところが、これは当たり前ではないのです。お父さんとお母さんが出会い、君たちが生まれました。お父さんやお母さんは、おじいちゃんやおばあちゃんと出会って生まれてきました。こう考えていくと、自分から10代前の先祖まで遡ると約1680万人の人が出会いがあり、自分がここにいます。この人たちの出会いがなければ、自分はここにいないわけです。これは偶然であるようですが、実は必然なのです。

君たちが、この天童四中に入学したことは必然であり、何かをやるために入学してきたのです。だから、様々な出来事を楽しんでください。もちろん授業、行事はもちろん、友達と遊び、もしかしたら友達との喧嘩など、嬉しいことも苦しいことも、この出来事は自分に何を学ばせてくれるのか、楽しんでほしいと思います。何かを成すために入学したのだから、少々つまずきやトラブルがあっても、負けるなと君たちを応援したいのです。自分が自分らしく四中でいることができたら、絶対何かが起こるはずですよ。

ありのままの自分で、ありのままの仲間と、充実した四中での生活を楽しむことを心に決めてほしいと思います。



入学式

「新入生代表のことば」より

### 入学式を迎えて

新入生代表 押野 凌空 (1-4)

春になり、暖かい日が増えてきた今日、私たち百十名はこの天童市立第四中学校に入学しました。

先生方、来賓の皆様、上級生の皆様、私たちを温かく迎えてくださり、本当にありがとうございます。

私たちは、小学校から中学校に上がり、中学校で出会った友達との関わりや先輩方との関わりが増えたり、教科ごとに先生が変わって学習したりすることに楽しみの気持ちが高まっています。今までと大きく変わる環境の中、新しいことに積極的に挑戦を続けていきたいと思っています。

そして、関わっていく先生方や先輩方に対する尊敬や思いやりの気持ちを持ちながら、その姿を見習って生活し、中学校生活により早く慣れるよう、頑張りたいと思っています。

校長先生をはじめ、先生方や先輩方、まだ何もわからない僕たちですが、これから、天童市立第四中学校の生徒としてどうぞよろしくお願いたします。



始業式

「2年生代表のことば」より

### 2年生でがんばりたいこと

2年3組 武田晃誠

僕は2年生になって頑張りたいことが二つあります。一つ目は勉強です。僕は数学と理科と国語が得意で、社会と英語が苦手です。特に英単語の意味を覚えたり、英語を話したりすることが苦手です。2年生では、先生方や友達に聞きながら、疑問をすぐに解決できるようにしたいです。そして、家では自学ノートを使って単語練習を何度もして、覚えたいと思います。得意な数学なども、授業で先生の話をよく聞いて理解を深めていきたいです。一年生の学習と比べると難しくなってくると思いますが、毎日の積み重ねを大事にしていきたいです。

二つ目は部活動です。野球部は、三年生6人、二年生3人で活動していてとても少ないです。そのため天童市すべての中学校で合同チームを組んで、練習や試合に臨んでいます。これまでの部活より人が多くいるのでレギュラーになるために、普段からコーチの話をしっかり聞いて練習に取り組んでいきたいです。野球は、点取りゲームであり、協力ゲームでもあります。一つのエラー、一つのミスがチーム全員に迷惑をかけることになってしまいます。そのミスを一つでも減らし、チームに貢献できるようにしたいです。僕は野球がとても好きなので、好きな気持ちを忘れずに全力でプレーしていきたいと思っています。後輩に野球の楽しさと厳しさを伝えられるように頑張りたいです。そして、勉強でも苦手なたくさん克服できるように2年生でも努力を続けていきます。



生徒会入会式

「新入生代表のことば」より

### 生徒会入会式をむかえて

新入生代表 伊藤 幸絵 (1-3)

二年生、三年生の先輩方、本日は生徒会入会式を開催していただきありがとうございます。また昨日は、先輩方が私達のためにたくさん準備して下さったおかげで、私達は無事入学式を終えることができました。本当にありがとうございます。

私は、中学校でたくさんの人と学ぶのがとても楽しみです。理由は、小学校ではあまり意識しなかった先輩と後輩という関係、新しい仲間との出会いがあるからです。これから色々なことがあると思います。出会った仲間と乗り越え、お互いに力を高めて頑張っていきたいです。

さらに、十二月のオリエンテーションでは先輩方が大きなあいさつで迎えてくださりました。私も大きなあいさつができるように先輩方を見習い、中学校でもあいさつを心がけてがんばりたいです。

これからは私達も四中の生徒会の一員としてがんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



始業式

「3年生代表のことば」より

### 一学期の抱負

3年1組 伊藤 理桜

私が一学期頑張りたいことは三つあります。一つ目は勉強です。二年生の頃とは違い、三年生では本格的に受験に向けての勉強が始まります。今までは、得意ではない教科に自分の中で苦手意識を強く持っしまい、諦めてしまっていた部分がありました。しかし、受験という壁を乗り越えるために、三年生では苦手意識にとらわれず、少しずつ苦手をなくしていきたいです。また、普段の授業内容をしっかりと理解し、家では復習まで行う習慣をつけたいです。そして、大事な受験で後悔しないために危機感をもって毎日の学習に取り組んでいきます。

二つ目は部活動です。これまで目指してきた最後の中総体が約二ヶ月後に近づいてきています。新人戦や新春大会では思うように結果を残すことができず、悔しい思いをしました。中総体は、今までの練習の成果を出すことのできる最後の機会です。地区を突破し、県大会に行けるように、残り少ない時間を大切に活動していきたいです。

三つ目は、最高学年として自覚をもって行動することです。体育祭や合唱コンクールでは、先輩方が私たちに見せてくれたように、周りの人の心にも火をつけるような本気の姿で取り組みたいです。そして、様々な場面で最高学年という言葉にふさわしい発言や行動をしていきたいと思っています。

これまでの中学校での二年間は、短くあっという間に過ぎていきました。今日から中学生最後の一年間が始まります。毎日を全力で過ごし、充実した学校生活を送り、中学生生活最高の一年となるよう、精一杯頑張ります。